

北区環境衛生協会 令和6年度第2回研修会

令和7年3月11日（火）東十条ふれあい館において、市民防災研究所事務局長の江原信之氏を迎え「災害時に活かす地域防災力」と題し研修会を開催しました。



内容は



1, 最近発生した災害の教訓

建物の耐震化の重要性、火災の早期発見と初期消火の重要性、断水の影響による健康被害、等詳しく話して頂きました。

2, 地域の危険性を知る

防災マップなどを元に、地震の震度の違いや地形による危険性などを検証して頂きました。

3, 命を守る災害対策

建物の耐震化・・・地震の揺れで倒壊しないようにする。

火災防止対策・・・火災を起こさない・スグに消火する。

室内安全対策・・・家具類の転倒防止でケガをしない。

4, 避難所や避難生活の課題

避難所生活ではプライバシーが無い、寝る場所を確保するのがやっと、と成りストレスや疲労がたまり体調不良になりやすく、感染症の発生も起こりやすくなる。そのために、避難所に行かないですむようにするには、家具類の転倒防止対策・ライフラインの途絶に備える・備蓄品（水、食料、医薬品）の準備・トイレ対策、といったことが重要になる。

5, 自主防災組織の防災力を高める

災害発生当初、外部からの支援は期待できないので地域での活動が重要になる。災害時に活動できる組織作り・地域を核とした緩やかな連携・自助力アップの意識作り・地域防災における次世代の担い手確保、といった課題があり組織で取り組まなければいけない。



今回北区環境衛生協会として災害発生時に協力し合えるよう北区と協定を結ぶ意向であり、その一環としてこの研修会を企画開催しました。

北区環境衛生協会理事一同 協力北区保健所